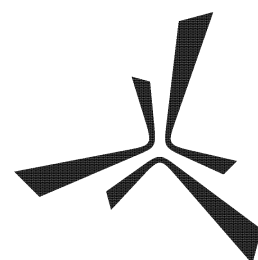


2024年度
広島市立大学
入学者選抜要項



Hiroshima City University

目 次

I	アドミッション・ポリシー	1
II	入学定員及び募集人員	1
III	試験日程	2
IV	入学者選抜の概要	
1	一般選抜	
(1)	出願資格	3
(2)	入学者の選抜方法	3
(3)	大学入学共通テストの成績の利用について	3
(4)	入学者選抜の実施教科・科目等	
①	国際学部	4
②	情報科学部	5
③	芸術学部	6
2	総合型選抜	
(1)	3学部共通	7
(2)	国際学部	7
(3)	情報科学部	8
(4)	芸術学部	9
3	学校推薦型選抜	
(1)	国際学部	11
(2)	情報科学部	12
4	外国人留学生選抜	13
V	アドミッション・ポリシーに基づく各試験区分別の評価項目等	
(1)	国際学部	14
(2)	情報科学部	15
(3)	芸術学部	16
VI	受験上及び修学上の配慮を希望する場合	20
VII	学生募集要項の発表時期	20
VIII	出願について	20
IX	試験会場案内	21

I アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

各学部においては、学部の理念、教育目標、人材育成の目標に合致したアドミッション・ポリシーをそれぞれ定めています。各学部のアドミッション・ポリシーについては14ページから19ページをご覧ください。

II 入学定員及び募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻	入 学 定 員	募 集 人 員						
			一 般 選 抜		特 別 選 抜				
			前 期 日 程	後 期 日 程	総 合 型 選 抜	学 校 推 薦 型 選 抜		外 国 人 留 学 生 選 抜 (注2)	
市 内 公 募	全 国 公 募								
国 際 学 部	国 際 学 科	100	60	15	5	10	10	若干名	
情 報 科 学 部	情 報 工 学 科 知 能 工 学 科 シ ス テ ム 工 学 科 医 用 情 報 科 学 科	210 (注1)	120	35	5	25	25	若干名	
芸 術 学 部	美 術 学 科	日 本 画 専 攻	10	8	-	2	-	-	若干名
		油 絵 専 攻	20	15	-	5	-	-	若干名
		彫 刻 専 攻	10	-	7	3	-	-	若干名
		学 科 小 計	40	23	7	10	-	-	若干名
	デ ザ イ ン 工 芸 学 科	40	22	10	8	-	-	若干名	
	学 部 小 計	80	45	17	18	-	-	若干名	
合 計		390	225	67	28	35	35	若干名	

(注1) 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学科定員30名)は本人の希望及び1年次の成績により、2年次進級時に行います。

(注2) 外国人留学生選抜の募集人員「若干名」は、一般選抜の募集人員に含まれます。

Ⅲ 試験日程

試験区分	学部等	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間	
一般選抜 前期日程	国際学部	2024年 1月22日(月)～ 2月2日(金)	2024年 2月25日(日)	2024年 3月7日(木)	2024年 3月8日(金)～ 3月15日(金)	
	情報科学部					
	芸術学部 美術学科		日本画専攻			2024年 2月25日(日)～ 2月27日(火)
			油絵専攻			
デザイン工芸学科	2024年 2月25日(日)					
一般選抜 後期日程	国際学部	2024年 1月22日(月)～ 2月2日(金)	2024年 3月12日(火)	2024年 3月21日(木)	2024年 3月22日(金)～ 3月27日(水)	
	情報科学部					
	芸術学部 美術学科		美術学科彫刻専攻			2024年 3月14日(木)～ 3月15日(金)
			デザイン工芸学科			2024年 3月14日(木)
総合型選抜	国際学部	2023年 9月7日(木)～ 9月14日(木)	2023年 10月14日(土)	2023年 11月1日(水)	2023年 11月6日(月)～ 11月10日(金)	
	情報科学部					
	芸術学部 美術学科		日本画専攻			2023年 11月25日(土)～ 11月26日(日)
			油絵専攻			2023年 10月16日(月)～ 10月25日(水)
彫刻専攻						
デザイン工芸学科	2023年 11月25日(土)					
学校推薦型 選抜 市内公募 全国公募	国際学部	2023年 11月2日(木)～ 11月10日(金)	2023年 11月25日(土)	2023年 12月6日(水)	2023年 12月11日(月)～ 12月15日(金)	
	情報科学部					
外国 留学 選抜 人生抜	国際学部	2024年 1月22日(月)～ 2月2日(金)	2024年 2月25日(日)	2024年 3月7日(木)	2024年 3月8日(金)～ 3月15日(金)	
	情報科学部					
	デザイン工芸学科		2024年 2月25日(日)			
	芸術学部 美術学科		日本画専攻			2024年 2月25日(日)～ 2月27日(火)
			油絵専攻			
彫刻専攻	2024年 3月14日(木)～ 3月15日(金)	2024年 3月21日(木)	2024年 3月22日(金)～ 3月27日(水)			

IV 入学者選抜の概要

1 一般選抜

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、各学部・学科が定める令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験した者としてします。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条（第1号から第6号まで）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者

<個別の入学資格審査について>

上記のいずれにも該当しない者で、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、2023年8月21日(月)から2023年8月25日(金)までに、入学資格認定申請書を提出し、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。

詳しくはアドミッションセンターにお問い合わせください。

(2) 入学者の選抜方法

- ① 入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が行う個別学力検査等の成績を総合して行います。
大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等並びに配点については、4ページから6ページを参照してください。
- ② 国際学部及び情報科学部並びに芸術学部デザイン工芸学科は、「前期日程」と「後期日程」に分けて募集し、日程ごとに合格者を決定します。
芸術学部美術学科日本画専攻及び油絵専攻は、「前期日程」のみで募集し、合格者を決定します。
芸術学部美術学科彫刻専攻は、「後期日程」のみで募集し、合格者を決定します。
- ③ 個別学力検査等の試験会場は、広島市立大学（広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号）です。

(3) 大学入学共通テストの成績の利用について

大学入学共通テストの過年度成績は、入学者選抜に利用しません。

大学入学共通テストの得点は、各学部の表（4ページから6ページ参照）に示す配点を満点として換算した得点を利用します。

(4) 入学者選抜の実施教科・科目等

① 国際学部

学科	学力検査等の区分・日程	募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	配点合計	
国際学科	前期 2月 25日	60名	国語	国(古文・漢文を含む)	から 1	その他	総合問題 (日本語と英語による出題)	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1				個別学力検査等							400		400
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1				計	200	*200	*200	*200	*200	200	400		1000
	後期 3月 12日	15名	数学	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1		その他	小論文 (日本語による出題とし, 記述を中心とした問題)	大学入学共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	200			400
			理科	物基, 化基, 生基, 地学基から2又は 物, 化, 生, 地学から1				個別学力検査等								200	200
			外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1				計	100	*100	*100	*100	*100	200		200	600
			[3教科3科目又は 3教科4科目]														

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ① 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。
- ② 地理歴史, 公民, 数学及び理科の選択科目について, 指定した科目数以上を受験しているときは, 高得点の科目を合否判定に利用します。
- ③ 選択教科について, 指定した教科数以上を受験しているときは, 高得点の教科を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

- ① 配点に * を付してある教科は, 選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テストの得点は, 表に示す配点を満点として, 換算し, 利用します。
- ③ 「外国語(英語)」の得点は, 大学入試センターから提供されるマークシート式の点数(リーディング 100 点満点, リスニング 100 点満点)を, リーディングは 1.6 倍(160 点満点), リスニングは 0.4 倍(40 点満点)した合計 200 点を満点とします。
ただし, リスニングを免除された者については, リーディング(100 点満点)を 200 点満点に換算します。

【大学入学共通テスト過年度成績の利用について】

大学入学共通テストの過年度成績は, 入学者選抜に利用しません。

② 情報科学部

学科	学力検査等の区分・日程	募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点					
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学	理科	外国語	配点合計
情報工学科・知能工学科・システム工学科・医用情報科学科	前期 2月 25日	120名	国語	国(古文・漢文を含む)	数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A 数B	大学入学 共通テスト	100	200	200	200	700
			数学	数Ⅰ・数Aと「数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」			個別学力検査等		400			400
			理科	物, 化, 生から1								
		外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1									
				[4教科5科目]			計	100	600	200	200	1100
	後期 3月 12日	35名	数学	数Ⅰ・数Aと「数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1」	数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A 数B	大学入学 共通テスト		200	200	200	600
理科			物, 化, 生から1	個別学力検査等				400			400	
外国語			英									
			[3教科4科目]			計		600	200	200	1000	

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ① 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- ② 理科の選択科目について、指定した科目数以上を受験しているときは、高得点の科目を合否判定に利用します。

【個別学力検査等】欄

『数学B』については、「数列」、「ベクトル」の範囲から出題します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

- ① 大学入学共通テストの得点は、表に示す配点を満点として、換算し、利用します。
- ② 「外国語（英語）」の得点は、大学入試センターから提供されるマークシート式の点数（リーディング 100 点満点、リスニング 100 点満点）を、リーディングは 1.6 倍（160 点満点）、リスニングは 0.4 倍（40 点満点）した合計 200 点を満点とします。
ただし、リスニングを免除された者については、リーディング（100 点満点）を 200 点満点に換算します。

【大学入学共通テスト過年度成績の利用について】

大学入学共通テストの過年度成績は、入学者選抜に利用しません。

③ 芸術学部

学科等	学力検査等の区分・日程	募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技		配点合計	
														①	②		
美術学科	日本画専攻 前期 2月25日～27日	8名	国語	国(古文・漢文を含む)	その他	実技検査 25日 ①鉛筆素描 26, 27日 ②着彩写生	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200			600
							個別学力検査等								450	750	1200
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200	1200	1800	
	油絵専攻 後期 3月14日～15日	15名	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	その他	実技検査 25日 ①素描 26, 27日 ②油彩	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200			600
							個別学力検査等								600	600	1200
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200	1200	1800	
	彫刻専攻	7名	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1	その他	実技検査 14日 ①素描 【※1】 15日 ②塑造	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200			600
							個別学力検査等								600	600	1200
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200	1200	1800	
デザイン工芸学科	前期 2月25日	22名	理科	物基, 化基, 生基, 地学基から2又は物, 化, 生, 地学から1	その他	実技検査 25日 ①感覚考査(描出)	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200			600
							個別学力検査等								1200		1200
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200	1200	1800	
	後期 3月14日	10名	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1	その他	実技検査 14日 ①感覚考査(色彩)又は感覚考査(形体) 【※2】	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200			600
							個別学力検査等								1200		1200
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200	1200	1800	

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- ① 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。
- ② 地理歴史, 公民, 数学及び理科の選択科目について, 指定した科目数以上を受験しているときは, 高得点の科目を合否判定に利用します。
- ③ 選択教科について, 指定した教科数以上を受験しているときは, 高得点の教科を合否判定に利用します。

【個別学力検査等】欄

- ① 美術学科油絵専攻の素描については, 木炭のみによるデッサン又は木炭と鉛筆の併用によるデッサンとします。出願時に選択する必要はありません。いずれの場合も用紙は木炭紙です。
- ② 美術学科彫刻専攻の素描については, 木炭によるデッサン(用紙は木炭紙)又は鉛筆によるデッサン(用紙は画用紙)のいずれかを, 志願者が出願時に選択します。出願後の変更は認めません。【※1】
- ③ デザイン工芸学科後期日程の感覚考査については, 感覚考査(色彩)又は感覚考査(形体)のいずれかを, 志願者が出願時に選択します。出願後の変更は認めません。【※2】

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

- ① 配点に * を付してある教科は, 選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テストの得点は, 表に示す配点を満点として, 換算し, 利用します。
- ③ 「外国語(英語)」の得点は, 大学入試センターから提供されるマークシート式の点数(リーディング 100 点満点, リスニング 100 点満点)を, リーディングは 1.6 倍(160 点満点), リスニングは 0.4 倍(40 点満点)した合計 200 点を満点とします。
ただし, リスニングを免除された者については, リーディング(100 点満点)を 200 点満点に換算します。

【大学入学共通テスト過年度成績の利用について】

大学入学共通テストの過年度成績は, 入学者選抜に利用しません。

2 総合型選抜

(1) 3学部共通

●出願資格

次の①及び②の両方に該当する者

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者

(イ) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月修了見込みの者

(ウ) 学校教育法施行規則第150条（第1号から第6号まで）の規定により高等学校を卒業した者と同
等以上の学力があると認められる者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、入学資格認定
申請書を提出し、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。

② 広島市立大学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場 合には必ず入学することを確約できる者

(2) 国際学部

●選抜方法等

【1次選考について】

1次選考は出願書類のうち、活動報告書（50点満点）及び学修計画書（50点満点）の内容をアドミッ
ション・ポリシーの重点評価項目に基づいて審査・選考し、募集人員の2倍程度を目安に2次選考対象
者を決定します。

1次選考の実施の有無及び実施した場合の選考結果については、2023年10月5日に志願者全員に通
知します。

提出書類	内 容
活動報告書	国際学部で学びたいことと関連するこれまでの活動や取り組みで自己評価できるものを書いてください。
学修計画書	国際学部のカリキュラムの中で中心的に学んでみたいプログラムや科目とその理由、国際学部で取り組んでみたいプロジェクト・研究・調査・研修（学外研修・海外留学計画等も含む）などの計画とその理由を書いてください。

【2次選考について】

2次選考対象者に「小論文」及び「面接」を課し、その結果を総合して評価し合格者を決定します。
大学入学共通テストは利用しません。また、1次選考の点数は、2次選考に加点しません。

選抜方法	内 容	配点
小論文	社会問題や社会情勢等について日本語で書かれた評論等を題材とした問題を出題し、総合型選抜のアドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。試験時間は60分です。	100点
面接	複数名の面接者が、出願書類（活動報告書・学修計画書）に基づく7分以内のプレゼンテーションを含む20分程度の個人面接を行い、総合型選抜のアドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」「思考力・判断力・表現力」及び「主体性・協働性」について重点的に評価します。 面接では、調査書や英語民間試験スコアなどの提出書類も参考にします。	100点

(3) 情報科学部

●選抜方法等

【1次選考について】

1次選考は出願書類のうち、活動報告書（50点満点）及び志願理由書（50点満点）の内容をアドミッション・ポリシーの重点評価項目に基づいて「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について重点的に審査・選考し、募集人員の4倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定します。

1次選考の実施の有無及び実施した場合の選考結果については、2023年10月5日に志願者全員に通知します。

提出書類	内 容
活動報告書	情報科学に関する活動のうち、力を注いだこと、誇りに思えることを、エピソードを交えて書いてください。具体的には、その活動のきっかけ、進め方や仲間との協力の様子、苦勞したこととそれをどのように乗り越えたか、活動を通じて何を学んだか、などを示してください。情報科学に関する活動の例（正課、正課外いずれも可）としては、数学に関する探究、アルゴリズム・プログラムの作成などが挙げられます。
志願理由書	将来（大学卒業後）の目標と、そのために情報科学部で学びたいこと・身につけたいことを、これまでの活動（正課、正課外いずれも可）と関連付けて述べてください。
その他の書類	出願書類（活動報告書、志願理由書）の中で述べられている、情報科学に関して主体的に活動したことについて、その裏付けとなる資格や受賞歴、プログラムなどがあれば、それを確認できる書類の写しを提出してください。

【2次選考について】

2次選考対象者に「総合問題」及び「面接」を課し、その結果を総合して評価し合格者を決定します。大学入学共通テストは利用しません。また、1次選考の点数は、2次選考に加点しません。

選抜方法	内 容	配点
総合問題	情報科学に関する論理的思考力及び現実の問題を数式やアルゴリズムを用いて記述し解析する基礎能力を確認する問題を出題し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。試験時間は120分です。	200点
面接	プレゼンテーションを含む個人面接、質疑応答を行います。プレゼンテーションでは、これまでの学びや頑張りについて、そしてそれを大学ではどのように向上・発展させたいか、また、それを将来はどのように役立てたいか、などを7分程度で説明してもらいます。プレゼンテーションの内容と出願書類（活動報告書、志願理由書及びその他の書類）を参考にしながら、複数名の面接者が質問します。面接時間は、プレゼンテーションを含めて30分程度です。 プレゼンテーションでは、各自で用意、当日持参可能なものに限り、補足資料（レポート、ポスターなど）を利用できます（終了後は持ち帰ってください）。面接室ではホワイトボードも利用可能です。パソコン等を使ったプレゼンテーション（PowerPoint (R) など）は使用できません。 プレゼンテーションの内容、質問への回答について、アドミッション・ポリシーに基づき「関心・意欲」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」及び「主体性・協働性」について重点的に評価します。プレゼンテーションに用いた補足資料は評価の対象になりません。	100点

●イノベーション人材育成プログラムについて

情報科学部では、ICT活用に不可欠なプログラミングや情報科学の基礎となる数学において秀でた能力を、学修意欲と共にさらに伸ばす「イノベーション人材育成プログラム」により、社会にイノベーションをもたらし得る人材を育成します。総合型選抜を通じて入学した学生は、創造力を養う本プログラムで優先的に学ぶことができます。本プログラムは大学院との一貫カリキュラムを想定しており、所定の成績でプログラムを修了した学生は、通常4年次で履修する卒業研究を飛ばして、早期に大学院に進学し先端的な研究を開始することができます。本プログラムを修了することで、社会の変化とニーズに対応できる実践的なICT人材として活躍できます。

(4) 芸術学部

●選抜方法等

- ・全ての選考項目については芸術学部のアドミッション・ポリシーに基づいて評価します。
- ・「提出書類」の得点と「本選考」の得点を合計して選抜します。「提出書類」及び「本選考」の項目は学科・専攻により異なります。なお、大学入学共通テストは利用しません。
- ・自己推薦書，作品ファイル，課題作品等はすべて本人の活動及び制作物でなければなりません。これに反することが判明した場合は，入学者選抜の対象としません。合格決定後であっても同様です。

【事前選考について】

- ・次の場合，提出書類による事前選考を実施することがあります。
 - 美術学科日本画専攻：志願者が募集人員の4倍を超えた場合
 - 美術学科油絵専攻：志願者が募集人員の3倍を超えた場合
 - 美術学科彫刻専攻：志願者が募集人員の4倍を超えた場合
 - デザイン工芸学科：志願者が募集人員の3倍を超えた場合
- ・事前選考を行った場合は，その合格者に対してのみ本選考を実施します。
- ・事前選考実施の有無及び実施した場合の選考結果を2023年11月9日に志願者全員へ通知します。

【配点・募集人員・提出書類・選考項目】

A 美術学科

専攻	募集人員	配点								合計
		提出書類				本選考				
		自己推薦書	調査書	作品ファイル	課題作品の写真	小論文	実技試験	面接資料	面接	
日本画専攻	2	100		150		100	500	150		1000
油絵専攻	5	100		150	150	100	300	200		1000
彫刻専攻	3	100		200	200	100	150		250	1000

提出書類	自己推薦書	志願する学科・専攻を選択した理由，美術に対する思い等に言及し，自己の可能性についてアピールしてください。(1200字以内)
	調査書	高等学校の「調査書」を提出してください。なお高等学校で発行されない場合，学歴，職歴，活動歴などを所定の様式に記入して提出してください。
	作品ファイル	これまでに制作した作品や，取り組んだ芸術活動の写真等を A4 ファイル 1 冊にまとめて，紙媒体で提出してください。作品タイトル，大きさ，制作年または活動名，活動期間を明記してください。なお，ページ数やレイアウトは自由です。
	課題作品の写真	油絵専攻 課題のテーマに基づいて自由に発想した平面作品を制作し，その記録写真 1 枚 (A4 片面カラープリント) を提出してください。課題作品は F15 号相当サイズとし，素材・表現手法についてはいずれも任意です。本学所定の貼付票に，作品のタイトル，サイズ，素材，表現手法を記入してください。 テーマは，7 月下旬公表予定の芸術学部総合型選抜学生募集要項にて発表します。

提出書類	課題作品の写真	彫刻専攻	<p>課題のテーマに基づいて自由に発想した立体作品を制作し、その記録写真3枚(A4片面カラープリント、正面・側面・背面など3方向から撮影したもの)を提出してください。正面写真に作品のタイトル、大きさ、素材を記入してください。写真は、作品ファイルの最後のページに挿入し、この写真が課題作品の写真だとわかるように整理・明記してください。</p> <p>テーマは、7月下旬公表予定の芸術学部総合型選抜学生募集要項にて発表します。</p>
	小論文		<p>設問に対し60分で800字程度の作文を行います。</p> <p>配付された画像資料を見て、そこから得られる自分の考えを自分の言葉で表現し、読み手に正しく伝わるように論じてください。</p>
本選考	実技試験	日本画専攻	人物モデルを対象とした8時間の着彩写生を行います。
		油絵専攻	人物モデルを対象とした6時間の鉛筆デッサンを行います。
		彫刻専攻	与えられたモチーフを卓上に配置し2時間の鉛筆デッサンを行います。
	面接資料	日本画専攻	鉛筆デッサン、静物着彩写生を含む平面作品3点を持参してください。
		油絵専攻	写真で提出した課題作品の実物を持参してください。
面接		<p>3分程度のプレゼンテーションを含む一人20分程度の質疑応答を行います。</p> <p>プレゼンテーションでは、創作・表現への意欲、将来への展望、それらを通じた社会との関わり方等について自身の考えを述べてください。</p>	

B デザイン工芸学科

募集人員	配点						合計
	提出書類			本選考			
	自己推薦書	調査書	作品ファイル	小論文	課題作品	面接	
8	100		200	200	300	200	1000

提出書類	自己推薦書	<p>志願する学科を選択した理由、デザイン工芸に対する思い等に言及し、自己の可能性についてアピールしてください。(1200字以内)</p>
	調査書	<p>高等学校の「調査書」を提出してください。なお高等学校で発行されない場合、学歴、職歴、活動歴などを所定の様式に記入して提出してください。</p>
	作品ファイル	<p>これまでに制作した作品や、取り組んだ芸術活動の写真等をA4ファイル1冊にまとめて、紙媒体で提出してください。作品タイトル、大きさ、制作年または活動名、活動期間を明記してください。なお、ページ数やレイアウトは自由です。</p>
本選考	小論文	<p>設問に対し60分で800字程度の作文を行います。</p> <p>配付された画像資料を見て、そこから得られる自分の考えを自分の言葉で表現し、読み手に正しく伝わるように論じてください。</p>
	課題作品	<p>10日間程度の制作期間を想定した課題を課します。与えられたテーマに基づいて、素材、表現方法にこだわらず、自由に発想し、作品を制作してください。作品の写真をA4サイズに出力したものを提出してください。</p> <p>課題の詳細及びテーマは、「本選考」の10日程度前に本学ウェブサイトにて発表します。</p>
	面接	<p>10分程度のプレゼンテーションを行い、その後10分程度の質疑応答を行います。</p> <p>プレゼンテーションでは、課題作品の解説及び創作・表現への意欲、将来への展望、それらを通じた社会との関わり方等について自身の考えを述べてください。</p>

3 学校推薦型選抜

(1) 国際学部

●出願資格及び推薦の要件

市内公募は次の①から③のすべてに該当する者、全国公募は②及び③に該当する者としてします。

- ① 2023年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者
- ② 2024年3月に高等学校等を卒業見込みの者のうち、学業成績、人物共に優れ、志望する学部・学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者
- ③ 調査書における「全体の学習成績の状況」が4.0以上の者

(注) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを利用するもの及びこれを利用しないものを含めて)へ出願できるのは、一つの大学・学部です。

●推薦できる人数

1 高等学校等につき、市内公募1名、全国公募1名とします。

ただし、複数の課程(全日制、定時制、通信制)を持つ高等学校等については、課程ごとに所定の人数を推薦できるものとします。

(注1) 2023年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者であっても、全国公募枠で出願できます。ただし、市内公募枠との併願はできません。

(注2) 高等学校以外の学校については、事前協議が必要です。詳細はアドミッションセンターにお問い合わせください。

●選抜方法等

小論文及び面接の結果を総合して選考します(大学入学共通テストは利用しません)。

出願書類(調査書、推薦書、志願理由書)は面接の参考資料とします。

選抜方法	内 容	配点
小論文	社会問題や世界情勢等についての英文の論評等を題材とした問題を出題し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。試験時間は90分です。	100点
面接	複数名の面接者が出願書類(調査書、推薦書、志願理由書)や英語民間試験スコアなどの提出書類を参考に、10分程度の個人面接を行い、アドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」「表現力」及び「主体性・協働性」について重点的に評価します。	100点

(2) 情報科学部

●出願資格及び推薦の要件

市内公募は次の①から③のすべてに該当する者、全国公募は②及び③に該当する者としてします。

- ① 2023年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者
 - ② 2024年3月に高等学校等を卒業見込みの者のうち、学業成績、人物共に優れ、志望する学部・学科に対し熱意と適性を有する者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者
 - ③ 情報科学に興味を持ち、その基礎となる教科の数学、理科に優れている者
- (注) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを利用するもの及びこれを利用しないものを含めて)へ出願できるのは、一つの大学・学部です。

●推薦できる人数

1 高等学校等につき、市内公募2名まで、全国公募2名までとします。

ただし、複数の課程(全日制、定時制、通信制)を持つ高等学校等については、課程ごとに所定の人数を推薦できるものとします。

(注1) 2023年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有している者であっても、全国公募枠で出願できます。ただし、市内公募枠との併願はできません。

(注2) 高等学校以外の学校については、事前協議が必要です。詳細はアドミッションセンターにお問い合わせください。

●選抜方法等

総合問題、面接及び出願書類(活動報告書、志願理由書)の結果を総合して選考します(大学入学共通テストは利用しません)。

提出書類	内 容
活動報告書	高等学校で力を注いだ活動、誇りに思える活動を、エピソードを交えて書いてください(情報科学に関連することが望ましい)。具体的には、その活動のきっかけ、進め方や仲間との協力の様子、苦労したこととそれをどのように乗り越えたか、活動を通じて何を学んだか、などを示してください。
志願理由書	情報科学部で学びたいこと・身につけたいことを、高等学校での活動(正課、正課外いずれも可)及び将来(大学卒業後)の目標と関連付けながら(どのような経験や学びを活かしたいか)述べてください。
その他の書類	出願書類(活動報告書、志願理由書)の中で述べられている、主体的に活動したことや仲間と協力して活動したことについて、その裏付けとなる資格や受賞歴があれば、それを確認できる書類の写しを提出してください。

選抜方法	内 容	配点
総合問題	科学技術に関する日本語と英語の資料について読解・論述する問題、情報科学の基礎となる数学に関する知識や論理的思考力を確認する問題を出題します。試験時間は120分です。	200点
面接及び出願書類	出願書類(調査書、活動報告書、志願理由書及びその他の書類)を参考にしながら、複数名の面接者による20分程度の個人面接を行います。高等学校での3年間で学んだこと・頑張ったことを聞きながら、その成果を情報科学部に入ってからどのように向上・発展させたいか、その結果何を身に付け、社会に出てからどのように役立てたいか、などを中心に質問します。質問に対する回答をアドミッション・ポリシーに基づいて「関心・意欲」「表現力」及び「主体性・協働性」について重点的に評価します。面接で十分に聞き取れなかったことについては、活動報告書、志願理由書をもとに加点評価します。加点の上限は40点です。合計の得点が満点(200点)を超えることはありません。	200点

4 外国人留学生選抜

●出願資格

【国際学部・情報科学部】

日本の国籍を有しない者で、2023年度日本留学試験（6月又は11月のいずれか）の本学が指定する科目を受験し、その得点が、日本語（「読解」及び「聴解・聴読解」）は197点以上、その他の科目の合計点は215点以上である者で、下記①から③のいずれかに該当する者としてします。

【芸術学部】

日本の国籍を有しない者で、2023年度日本留学試験（6月又は11月のいずれか）の本学が指定する科目及び TOEIC®（2023年中に実施される TOEIC®Listening & Reading テストまたは TOEIC® Listening & Reading IP テストのいずれか）を受験した者で、下記①から③のいずれかに該当する者としてします。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCE (General Certificate of Education) Aレベルを有する者
- ③ 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC）の認定を受けた外国における教育施設の12年の課程を修了した者又は2024年3月31日までに修了見込みの者

本学が指定する日本留学試験の受験科目（※ 出題言語は日本語を選択すること。）

学部名	日本留学試験受験科目			
	日本語	総合科目	数学	理科
国際学部	日本語	総合科目	数学コース1又はコース2	—
情報科学部	日本語	—	数学コース2	物理, 化学
芸術学部	日本語	総合科目	—	—

●選抜方法等

【国際学部】

小論文（100点満点）及び面接（100点満点）の結果を総合して選考します。

日本留学試験の成績は、面接の参考資料として利用します。

【情報科学部】

日本留学試験の成績（400点満点）、学力検査（一般選抜前期日程の数学と同一試験、400点満点）及び面接（300点満点）の結果を総合して選考します。

日本留学試験の成績は、日本語（読解及び聴解・聴読解）、数学及び理科（物理、化学）の得点の合計点を400点満点として換算し利用します。

【芸術学部】

日本留学試験の成績（400点満点）、実技検査（1200点満点）及び面接（200点満点）の結果を総合して選考します。

日本留学試験の成績は、日本語（読解及び聴解・聴読解）及び総合科目の得点の合計点を400点満点として換算し利用します。

V アドミッション・ポリシーに基づく各試験区分別の評価項目等

(1) 国際学部

国際学部アドミッション・ポリシー	
<p>複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。</p> <p>国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。</p>	
<p>【求める人物像】</p> <p>(関心・意欲) 国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人</p> <p>(知識・技能) 国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人</p> <p>(思考力・判断力・表現力) ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人 ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人</p> <p>(主体性・協働性) ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人 ・国際社会や地域社会における人間の営みに関する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働する姿勢を持つ人</p>	

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各試験区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

試験区分	一般選抜(75名)		総合型選抜【10月】(5名)	学校推薦型選抜【11月】(市内10名, 全国10名)	外国人留学生選抜【2月】(若干名)								
	前期【2月】(60名)	後期【3月】(15名)											
	特に求める人物像												
アドミッションポリシー内【求める人物像】	現代社会とその課題について基本的な知識と高い関心を持ち、社会の課題に対する考えを論理的に表現できる人		現代社会の課題に深い関心を持ち、その解決へ向けた考えを論理的に表現できる人		国際学部の専門分野を学ぶ意欲を持ち、現代社会の課題に対する問題意識を自分の言葉で説得的に表現できる人		高等学校段階において優れた能力を示し、豊かな経験を有するとともに、これらを国際学部で学ぶのに活かす意欲を明確に表現できる人		本学で学ぶのに必要な日本語能力があり、国際学部の専門分野に積極的に取り組む意欲のある外国人留学生				
	全体 1000		全体 600		1次選考では活動報告書及び学修計画書の内容を審査し、募集人員の2倍程度を目安に2次選考対象者を決定する。		全体 200		全体 200				
	100		200		1次選考		2次選考		小論文		面接		
	大学入学共通テスト	総合問題	大学入学共通テスト	小論文	活動報告書	学修計画書	小論文	面接(プレゼンテーションを含む)	小論文	面接	日本留学試験	小論文	面接
	600	400	400	200	50	50	100	100	100	100		100	100

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

(2) 情報科学部

情報科学部アドミッション・ポリシー

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

(関心・意欲)

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人

(知識・技能)

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科及び語学の知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- ・物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人

(主体性・協働性)

- ・情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人
- ・多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各試験区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	試験 区分	一般選抜(155名)				総合型選抜 【10月】 (5名)				学校推薦型選抜 【11月】 (市内25名、 全国25名)		外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)								
		前期 【2月】 (120名)		後期 【3月】 (35名)																
		特に 求める 人物像		数学の高い知識・技能を持ち、情報科学分野に 応用できる人。論理的に思考し、説明できる人		情報科学に深い関心があり、積極的に学ぶ意欲を持ち、新しい情報科学技術を創造したい人。数学またはプログラミングの知識・技能に自信のある人				情報科学に関心・学修する意欲を持ち、学んだことを活用して社会の課題解決に貢献する熱意がある人。そのために、他人と協調して主体的に活動できる人		情報科学を学ぶのに必要な日本語能力と数学・理科・語学の基礎的な知識・技能を持つ人。情報科学を学習する意欲のある外国人留学生								
		全体 1100		全体 1000		1次選考では活動報告書及び学修計画書の内容を審査し、募集人員の4倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。				全体 400		全体 1100								
大学入学共通テスト		数学		大学入学共通テスト		数学		1次選考		2次選考		総合問題		面接・出願書類(志願理由書、活動報告書)		日本留学試験		数学		面接
700		400		600		400		50 50		200 100		200 200		400 400		400 400		300		
関心 意欲	情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つ人	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知識 技能	情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科及び語学の知識・技能を有している人	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	有している知識・技能の応用・発展ができる人	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
思考力 判断力 表現力	物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
主体性 協働性	情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

(3) 芸術学部

芸術学部アドミッション・ポリシー

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

（関心・意欲）

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人

（知識・技能）

高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人

（思考力・判断力・表現力）

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人

（主体性・協働性）

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各試験区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

【美術学科日本画専攻】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	細目	試験 区分	一般選抜（前期） 【2月】 (8名) 試験日程:3日(19時間)			総合型選抜 【11月】 (2名) 試験日程:2日					外国人留学生 選抜 【2月】 (若干名)			
		特に 求める 人物 像	絵画創作において基礎となる描写力・思考力・構成力と色彩感覚をバランスよく備え、客観的な観察力よって的確な表現のできる人			絵画表現における基礎的描写力と豊かな感性を有し、作品制作に強い意志と積極性を持って臨むことのできる人					日本画分野で学ぶために必要な日本語能力があり、絵画表現の基礎力を備えた創作意欲のある外国人留学生			
		全体 1800			全体 1000					全体 1800				
			大学 入学 共通 テスト	鉛筆 素描 (7h)	着彩 写生 (12h)	募集人員の4倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す					日本 留学 試験	実 技 検 査	面 接	
						提出書類	本選考							
						自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	小論文	着彩 写生 (8h)	面接 (プレゼンテーションを含む、平面作品3点(持参))			
			600	450	750	100	150	100	500	150	400	1200	200	
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○				◎	○		○
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○			○		○			○	○		
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎		◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎		◎
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	○	◎	◎	○	○		○	○	○	◎		◎
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○			○	○		○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【美術学科油絵専攻】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】		細目	試験 区分	一般選抜（前期） 【2月】 (15名) 試験日程:3日(19時間)			総合型選抜 【11月】 (5名) 試験日程:2日						外国人留学生 選抜 【2月】 (若干名)				
			特に 求める人 物像	油絵分野における基本的な観察力・描写力・構成力・発想力・思考力とともに、創造力を備えた人			油絵分野に対して高い関心と意欲を持ち、目的意識が高く、創造力を備え普段から創作に関わる人						油絵分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、絵画表現の基礎力を備えた創作意欲のある外国人留学生				
			全体 1800			全体 1000									全体 1800		
			大学 入学 共通 テスト	素描 (7h)	油彩 (12h)	提出書類				本選考			日本 留学 試験	実技 検査	面接		
600	600	600	自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	課題 作品 (写真)	小論 文	人物 デッサ ン (6h)	面接 (プレゼン テーション を含む、課 題作品 (持参))	400	1200	200					
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○		◎	○			◎	○			○
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	基本的な知識、教養を有している人	○	○		○		○					○	○			
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人		◎		◎	◎	○	○			◎		◎		◎		
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人		◎	○	◎	◎	○		◎	○	○	◎	◎		◎		○
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○				○	○				○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【美術学科彫刻専攻】

アドミッションポリシー内 【求める人物像】		試験区分	一般選抜(後期) 【3月】 (7名) 試験日程:2日(14時間)			総合型選抜 【11月】 (3名) 試験日程:1日						外国人留学生 選抜 【3月】 (若干名)				
			特に求める人物像		彫刻分野に対する高い関心と意欲の現れとして、基礎的な素描力(見る力・描く力)と造形力を身につけている人			彫刻に関心があり、普段から創作に関わる人 さらに自らの思考や意思を作品や言葉によって積極的に伝えようとする人 素描力(見る力・描く力)と造形的な感性を備えている人						彫刻分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、基礎的な造形力を備えた創作意欲のある外国人留学生		
			細目		全体 1800			全体 1000						全体 1800		
					大学 入学 共通 テスト	素描 (7h)	塑造 (7h)	募集人員の4倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す						日本 留学 試験	実技 検査	面接
提出書類			本選考													
					自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	課題 作品 (写真)	小論 文	静物 デッサン (2h)	面接 (プレゼン テーション を含む)					
		600	600	600	100	200	200	100	150	250		400	1200	200		
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人				◎	○	◎	○			◎	○		○		
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○		○	○					○	○	○			
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎	◎	◎	○		○	○		○		◎	◎			
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	○	○	○	◎	○	◎	○			◎	○	○	○		
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人				○	○	○				○	○		○		

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【デザイン工芸学科】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】		細目	試験区分	一般選抜（前期） 【2月】 (22名) 試験日程:1日 (7時間)	一般選抜（後期） 【3月】 (10名) 試験日程:1日 (7時間)	総合型選抜 【11月】 (8名) 試験日程:1日	外国人留学生 選抜 【2月】 (若干名)						
			特に求める人物像	デザイン工芸分野で学ぶ上で必要となる基礎的な観察力・描写力、及び優れた構成力・発想力・思考力を有する人	デザイン工芸分野で学ぶ上で必要となる色彩感覚、もしくは形体感覚のいずれかに特化した発想力・表現力を有する人	デザイン工芸分野に対して高い関心と意欲を持ち、目的意識が高く、創造力を備えた人	デザイン工芸分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、基礎的な造形力を備えた創作意欲のある外国人留学生						
			全体 1800	全体 1800	全体 1000			全体 1800					
			大学 入学 共通 テスト	感覚 考査 (描出)	大学 入学 共通 テスト	感覚 考査 (色彩 または 形体)	募集人員の3倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す			日本 留学 試験	実技 検査	面接	
				提出書類		本選考							
				自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	小 論 文	課題 作品	面接 (プレゼンテーションを含む)				
		600	1200	600	1200	100	200	200	300	200	400	1200	200
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○		○	◎	○		○
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	◎	◎	◎	◎	◎	○		○	◎	◎	◎	◎
	基本的な知識、教養を有している人	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○		○	○		○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

VI 受験上及び修学上の配慮を希望する場合

障害がある等の理由で、受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、出願の前に、本学アドミッションセンターにお申し出ください。

詳細については、各試験区分の学生募集要項を確認してください。

VII 学生募集要項の発表時期

下記の学生募集要項は、本学ウェブサイトにて電子ファイル（PDF 形式）で発表します。

本学ウェブサイトの【トップページ>入学案内>学部入試情報>学生募集要項等】から閲覧・ダウンロードしてください。（冊子等での配布は行いませんが、一般選抜学生募集要項のみ本学ウェブサイトから資料請求することができます。）

学生募集要項の種別	発表時期
一般選抜学生募集要項	2023 年 11 月下旬
総合型選抜学生募集要項	2023 年 7 月下旬
学校推薦型選抜学生募集要項	2023 年 9 月中旬
外国人留学生選抜学生募集要項	2023 年 11 月下旬

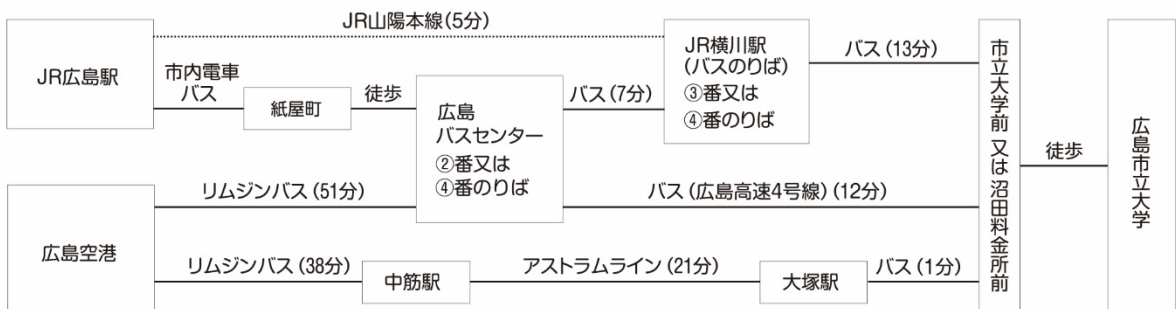
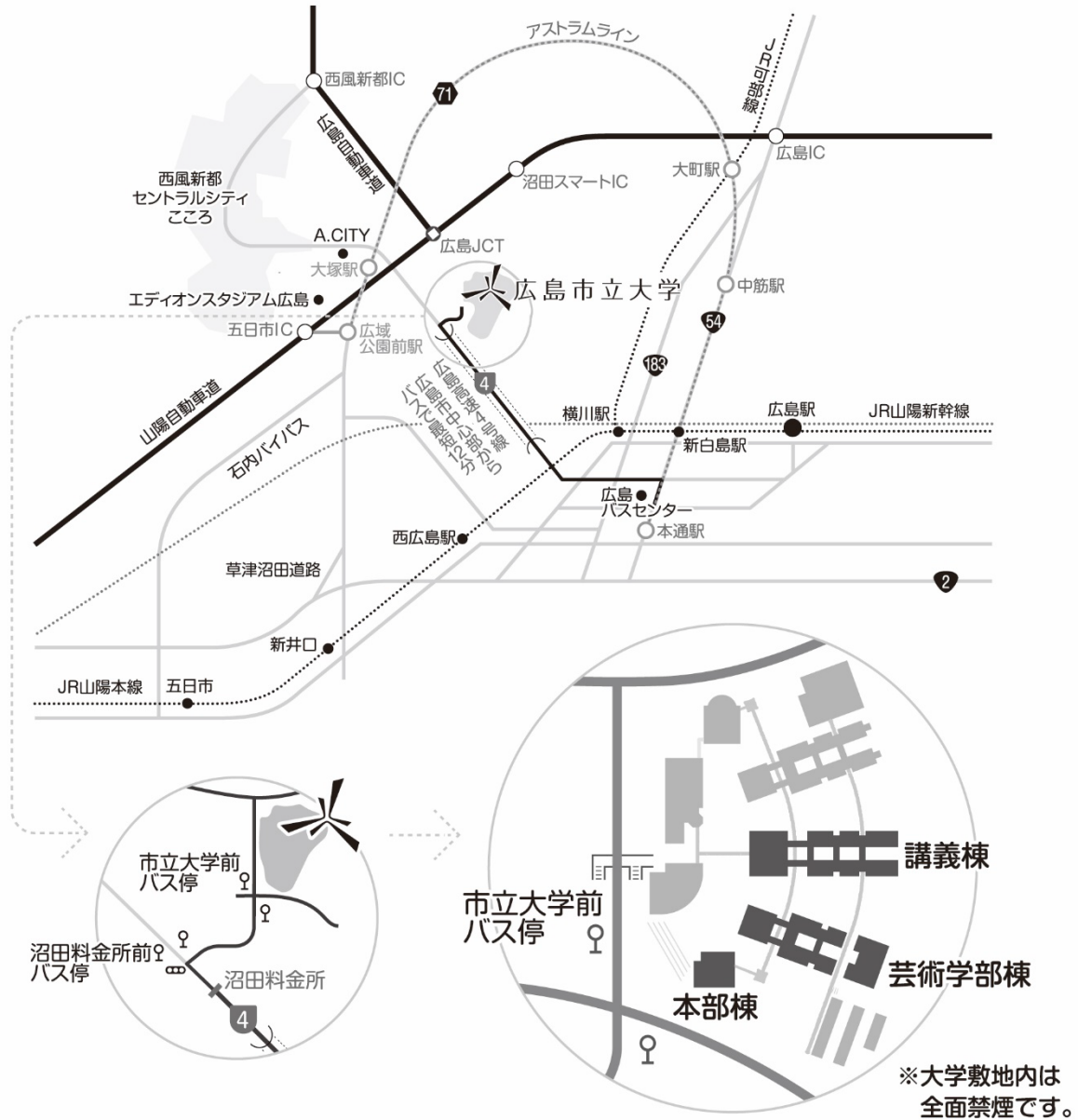
VIII 出願について

出願前に、各試験区分の詳細を学生募集要項で必ず確認したうえで、本学ウェブサイトの【トップページ>入学案内>Web 出願サイト】から各入学者選抜の出願を行ってください。

【本学ウェブサイト】 <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/>



Ⅸ 試験会場案内



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

- 所要時間は目安です。
- 広島バスセンター発「くすの木台」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。
広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南中央」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。



3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学
Hiroshima City University

【問い合わせ先】

広島市立大学アドミッションセンター

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

Phone 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

発行：2023年7月